

表1 GSCネットワークの設立とその後の活動経緯

年度 事業	第1期3ヶ年活動実績 (2000.3~2003.6)	第2期3ヶ年活動実績 (2003.7~2006.6)	第3期3ヶ年活動予定 (2006.7~2009.6)
世界の動向	<ul style="list-style-type: none"> 1995年米国「グリーンケミストリー」活動開始、GCI設立した。 1998年OECD「サステイナブルケミストリー」活動開始、GCNが欧州に拡大した。 	<ul style="list-style-type: none"> 2004年米国「グリーンケミストリー研究開発推進法案」提出した。 2004年欧州「ETP-SC(European Technology Platform for SC)」設立した。 	<ul style="list-style-type: none"> 2006.9 第1回IUPAC-GSC国際会議(独)開催 2007.7. 第3回GSC国際会議(オランダ)開催
GSCNの方針	2000.3 設立、GSC賞制度の創設・運営、シンポジウムの開催、ニュースレターの発行等を定期的実施しGSC活動を推進・普及する。	第1期3ヶ年計画の基盤に立って、GSC活動の一層の発展と社会への浸透に向けた活動を具体化する。	GSCの一層の具現化と、GSC理念の裾野分野への浸透を図ると共に、更なるグローバル化に向けてネットワーク組織基盤の安定化を図る。
GSC表彰関連	<ul style="list-style-type: none"> 2001年度第1回GSC賞の表彰と、その後毎年継続した。 2002年度にはGSC賞のなかで特に優れたものに経済産業大臣賞、文部科学大臣賞、環境大臣賞を贈り、毎年継続した。 	<ul style="list-style-type: none"> 2004年度には、GSC Student Travel Grant Awardsを創設・表彰し、受賞した学生を第2回GSC国際会議に派遣した。 2004年度に若手対象にポスター賞を創設・表彰し、翌年も継続した。 	<ul style="list-style-type: none"> GSC賞、GSC Student Travel Grant Awards、ポスター賞の運営を継続する。
GSCシンポジウム関連	<ul style="list-style-type: none"> 2001.10 第1回GSCシンポジウムを開催、毎年継続した。 2003.3 第1回GSC国際会議を東京で開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> 第4回~第6回GSCシンポジウムを開催した。 2005.6 第2回GSC国際会議(ワシントン)に学生・GSC関係者を派遣し支援した。 	<ul style="list-style-type: none"> 2007.3 第1回GSCアジアオセアニア会議(東京)開催 第7回~第9回GSCシンポジウム開催
GSC情報発信関連	<ul style="list-style-type: none"> 2000.6 ホームページ開設した。 2001.1 情報ディレトリー稼動した。 2001.4 にニュースレター発行開始し、7回発行した。 	<ul style="list-style-type: none"> ニュースレターNo.8~18を発行し、年4回発行を定着させた。 2003年8月からメールマガジンを発信し、月1回以上発信を定着させた。 	同左
新企画 (国際協力・教育・提言等)	<ul style="list-style-type: none"> GSC教科書を発行した。 第1回GSC国際会議(東京)企画立案した。 GSC尺度(4軸法)作成、GSC賞選考に利用した。 2003.3 イニシアティブGSC-21提言書「化学技術の挑戦」発行した。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本化学会「化学と教育」にGSC特集を掲載した。 第2回GSC国際会議(2005.6. ワシントン)協力した。 新規GSC評価手法「i-Messe」開発(JCII) 2004.3. ST戦略提言(JCII) 2005.3. ST-GSCプログラム構想提案(JCII) 	<ul style="list-style-type: none"> 日本化学会「化学と教育」でGSC特集継続する。 第3回GSC国際会議(オランダ)協力する。 第4回GSC国際会議(アジア)対応する。 GSC-AON構築に対応する。